

羽村市定員管理適正化計画の改訂について

(平成28年12月15日策定)

1 改訂の理由

羽村市定員管理適正化計画については、平成24年度を初年度とし、平成28年度までの計画期間における市立保育園の民営化や国の地域主権戦略大綱に基づく基礎自治体への権限移譲など様々な行政需要を見込み、定員目標を期初である平成24年度を基準に15人減となる348人とする計画を掲げ、達成に努めてきた。

しかしながら、計画期間中において、市立保育園の一部民営化の移行時期が延期となったことや、公共施設等の老朽化対策、産業振興施策の充実、市史編さんへの取り組み、特別支援教育の推進など喫緊の課題や行政需要の増加に加えて、まち・ひと・しごと創生総合戦略、社会保障・税番号制度、子ども・子育て新制度、新公会計制度改革、生活困窮者自立支援事業、地域包括ケアシステムの構築など、新たな行政需要が発生し目標の達成が困難な状況が生じたことから、平成27年3月と平成28年1月に計画期間の延伸を含む計画の改訂を行い、計画年次を平成30年度に改め、新たな目標定員を平成24年度から4人の増となる367人と改めたところである。

こうした状況の中、今年度は限られた人員により最大の成果を得るべく組織一丸となり行政課題に取り組み、まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づくシティプロモーションなど地方創生施策の推進、東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた取り組み、新公会計制度改革や社会保障・税番号制度への対応などに取り組んできたが、今後も、子育て支援包括拠点の設置をはじめとした社会保障制度の充実や下水道事業公営企業化への対応のほか、シティプロモーションの強化や、東京2020オリンピック・パラリンピックの本格的な準備段階に向けた推進体制の強化、発達支援への総合的な取り組み、公共施設総合管理計画の具現化など、新たな行政需要に直面する状況が生じている。

こうした状況を踏まえ、多様化する行政需要に的確に対応し、業務に見合った人員の配置を基本として一層の業務の効率化や組織力の強化を図るとともに、現行の羽村市定員管理適正化計画を改訂し、平成29年度から平成30年度までの定員目標を改めて設定するものとする。

改訂前羽村市定員管理適正化計画

単位：人

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	合計
目標定員	363	361	354	359	367	367	367	—
削減数	0	△2	△7	5	8	0	0	4
実績(各年度4月1日現在)	363	358	356	359	367	—	—	—
目標と実績の差	0	△3	2	0	0	—	—	—

2 羽村市定員管理適正化計画の改訂

平成29年度から平成30年度までの 定員目標を以下のとおり設定するものとする。

なお、計画期間中における社会経済状況の変化等による行政需要への影響については、その都度見直しを行い、必要に応じて計画に反映するものとする。

年度ごとの目標定員（改訂後）

単位：人

	H28	H29	H30	合計
目標定員	367	373	373	—
増減数	—	6	0	6
主な増減要因	<ul style="list-style-type: none"> ・新公会計制度改革 ・介護予防機能強化推進事業 ・認知症地域支援推進事業 ・シティプロモーション推進 ・東京オリンピック・パラリンピック推進 ・社会保障・税番号制度対応 ・地方創生施策推進 ・生涯学習基本計画後期計画策定 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園民営化 ・下水道事業公営企業化対応 ・子育て包括支援拠点設置 ・介護保険制度改革対応 ・社会福祉法人等の指導検査体制整備 ・シティプロモーション推進体制強化 ・東京オリンピック・パラリンピック推進体制強化 ・発達支援体制強化 ・特別支援教育、教育相談充実 ・公共施設等総合管理計画に基づく公共建築物維持保全の推進 	—	—

(参考) 職員数の現状分析

羽村市の平成 27 年 4 月現在の総職員数は 359 人、統計上の分類として、一般行政部門では 272 人、普通会計ベースでは 314 人となっている。

類似団体別職員数は、全ての市区町村を対象として、その人口と産業構造を基準に類型分類し、その類型に属する市区町村の人口あたりの職員数の平均により算出する指標である。

地方公共団体定員管理調査（H27.4.1）における類似団体別職員数は普通会計の単純値で 405 人、修正値で 331 人となっている。平成 27 年度の羽村市職員の普通会計の実数は 314 人であり、単純値では 91 人、修正値では 17 人下回っている。

また、羽村市は、類似団体「市Ⅱ－1」の分類に属するが、同分類に属する団体は、全国で 198 団体あり、その中で、人口 1 万人当たりの職員数においては、少ない方から 37 番目となっており、羽村市の職員数は類似団体と比較して適正な範囲に属しているといえる。

羽村市の職員数と統計指標の比較

単位：人

区分		職員総数	統計上の分類(地方公共団体定員管理調査)			
			普通会計 +公営企業会計	普通会計	一般行政部門	
			派遣職員含む	派遣職員除く	派遣職員除く	派遣職員除く
羽村市職員数(H27.4.1)		359	350	314	272	
指標	類似団体 別職員数	単純値	—	—	405	304
		修正値	—	—	331	294

また、羽村市が属する類似団体「市Ⅱ－1」における都内他市との比較では、人口 1 万人当たりの職員数においては、9 団体中 6 番目となっており、職員数は多い傾向にあるが、類似団体「市Ⅱ－1」の分類については、人口が 5 万人以上 1 0 万人未満とされていることから、羽村市の人口は 56,604 人であり、都内他市の中で最も人口が少ないことが要因の一つであると考えられ、都内他市との比較においても概ね適正な職員数であるといえる。

類似団体「市Ⅱ－1」の都内他市との比較

単位：人

団体名	人口(H27.1.1)	普通会計職員数 (H27.4.1)	人口1万人当たり 職員数
国立市	74,558	416	55.80
福生市	58,553	336	57.38
狛江市	79,096	420	53.10
東大和市	86,162	436	50.60

清瀬市	74,374	396	53.24
武蔵村山市	72,092	345	47.86
稲城市	86,594	503	58.09
あきる野市	81,697	387	47.37
羽村市	56,604	314	55.47

※普通会計職員のうち、消防に属する職員を除く。